## 事務事業マネジメントシート

22年度事業 事後評価

南アルプス市	平成	23	年度 ,		マネジメント					度事業 事後評価		
1117 75 7 7 11			(	兼)予算編成	資料•実施語	計画資料	作成日 H 保健福祉	24 年	2 月 <b>立番号</b>	13 <b>日作成</b> 5154		
事務事業名			若草保育原	听保育活動費		所属課室	若草保育	听 <b>課</b>	長名	小林まち子		
				実施計画事業	所属担当	若草保育		当者名	小林まち子			
基本政策	基 本	V	快適で心のかよい	いあう都市づくり		予算科目	会計   名称     01   一般	款 0 3 (	項 目 0 2 0 4	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##		
政策	計 1 画	7	社会福祉の充実				□国の制度に□県の制度に	よる義務的	事業 🗌 施	設等維持管理事業 助金交付事業		
施策	体 系	8	児童福祉の充実			事業区分	□ 市の制度に	制度による義務的事業 ▼ その他の事業 されている協議会等の負担金				
事業期間		<b>手度のみ</b>		区(開始年度	年度)	法令根拠	児童福祉法 南アルプス市立保育所条例 南アルプス市立保育の実施に関する条例					
事業の内容・・・・・			要数年度 ( ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	~ ~ 2.1降3年間の計画が	年度)	事業費の主		F立保育の第 <b>年度</b> )	尾施に関する	条例		
務保育所嘱託医報信 事費、保育証書等印 業 ぎょう虫・尿・寄生 5 の 研修負担金、児童 概 児童数の増加・減 要	賞、講師 刷代、値 は検査* 保育所	謝礼、職 多了記念 4、職員 に関わる	機員旅費、教材事業 ミアルバム代、教材 腸内細菌検査料、	等消耗品、世代間 ・器具等修繕料、財	]交流事業食糧 有材料費、児童	<mark>項目(細</mark> 報償費 旅費 需用費 役務費 使用料及び	節) 金額(-	<b>金額(千円</b> 付金 6 13,81				
1 現状把握(Do(1)事務事業の目的												
①活動						⑤ 活	動指標(事務事	業の活動量を	を表す指標)	<mark>数字は記入しない</mark> 単位		
	予算の 児童に		<b>予種事業の執行</b>					<i>γ</i> γ				
23年度活動予定	予算の	執行 悶わるを	<b>予種事業の執行</b>			イタープ	·算額 ·種事業数		<u>.</u>	円 数		
② 対象(この事務事				Dか) * 人や自然	資源等		象指標(対象の)	大きさを表す	指標)数字(	は記入しない		
①入所児童							名利 童数	<b>尔</b>		<b>単位</b> 人		
② 音図(二の事政事	** I - F L	<del>計</del>	じのトラナッ件能に	ていくのか じのト	- シに亦ってのか)	ウ (2) ff	用七堙/共免/+>	は2辛回の法	: ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	(抽) *** ウルショ・ナ		
③ 意図(この事務事	表により	対象を	とのような状態にし	, (いくのか、とのよ	うに変えるのか)	V AX	未相信(対象にあ 名利	ける恵図の達 尓		<mark>標)数字は記入しな</mark> 単位		
①保育所保育指針に	沿った係	<b>幹育を受</b>	ける			<b>→</b> ア 億 イ ウ	了児童数			人		
④ 上位目的(どのよ	うな結	果に結	び付けるのか)				位成果指標(結	果の達成度	を表す指標)	数字は記入しない 単位		
児童福祉の充実						マ・伝	<b>名</b> 利: 育所に満足して	<b>尓</b> ついろ保護え	<b></b> 学家	<u>単位</u> %		
九重佃位 27九天										70		
(2) 事業費・指標の打	推移	単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度	24年度		Ę :	26年度	最終年度		
(2) 事業費・指標の打 (2) 事業費・指標の打 (2) 事業費・指標の打	出金	千円	21年度 (決算·実績)	22年度 (決算見込·実績)	23年度 (予算·目標)	<b>→</b> 7	25年度	Ę :		最終年度		
(2) 事業費・指標の‡ 年 財   国庫支 間 事 源   県支出	出金	千円千円				24年度		Ę :	26年度	最終年度		
(2) 事業費・指標の対 年 財 国庫支 間 事 源 地方 ・ 地方	出金	千円千円		(決算見込·実績)	(予算・目標)	24年度(次年度計画・	25年月 (計画·目:	標) (言	26年度	最終年度		
(2) 事業費・指標の打 年 事 ト ト サ カ に カ に カ に カ に カ に の た の た の た の た の た の た の た の た の た の	出金	千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 16,042	(決算見込·実績) 13,815	(予算・目標)	24年度(次年度計画・	25年度 (計画·目:	標) (言	26年度 計画·目標) 13,300	最終年度		
(2) 事業費・指標の 年間	出金 情 他 源 (A) 事人数	千円 千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績)	(決算見込·実績)	(予算・目標)	24年度(次年度計画・	25年月 (計画·目:	標) (言	26年度 計画·目標)	最終年度		
(2) 事業費・指標の 年間	出金 責他 「源」 (A) 手人数	千円 千円 千円 千円 千円 十円 十円	(決算·実績) 16,042 16,042 9	(決算見込·実績) 13,815 13,815 7	(予算·目標) 12,700 12,700 9	24年度(次年度計画・	25年度 (計画·目: 3339 13 339 13	<b>と</b> 標) (言 ,300 ,300	26年度   +画·目標      13,300   13,300   8	最終年度		
(2) 事業費・指標の打 年	出金 責他 「源」 (A) 手人数	千円 千円 千円 千円 千円 千円 十二 千円 千円	(決算·実績) 16,042 16,042	(決算見込·実績) 13,815	(予算·目標) 12,700 12,700	24年度(次年度計画・	25年度 (計画·目: 339 13 339 13 8	<b>と</b> 標) (言 ,300 ,300	26年度 	最終 年度 (トータルコスト・目標 (トータルコスト・目標 ()		
(2) 事業費・指標の打 年間 事業 内	出金 情 他 が (A) 事 り (B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 16,042 16,042 9 0	(決算見込·実績) 13,815 13,815 7 0	(予算·目標) 12,700 12,700 9 0	24年度 (次年度計画·	25年度 (計画·目: 3339 13 339 13 8 0 0 3339 13	· (言 漂) (言 ,300 ,300 ,300 8	26年度 計画·目標) 13,300 13,300 8	最終 年度 (トータルコスト・目標 (トータルコスト・目標 ( ( (		
(2) 事業費・指標の計 年間トータルコスト リカ源の部でである。 第一次のでは、一般的では、 「一述 「一述	出金 1金 1個 1個 1個 1個 1個 1個 1個 1個 1個 1個 1個 1個 1個	千円       千円       千円       千円       千円       千円       千円       数	(決算·実績)  16,042 16,042 9  0 16,042 18,580.0 9.0	(決算見込·実績)  13,815 13,815 7 0 13,815 14,625.0 9.0	12,700 12,700 12,700 9 0 12,700 12,726.0 9.0	24年度 (次年度計画・ 13, 13, 13, 12,7	25年度 (計画·目· 339 13 339 13 8 0 339 13 26,0 12,	に (言 (言 (言 (言 (言 (言 (言 (言 (言 (言	26年度   +画·目標)   13,300   13,300   8   0   13,300   12,726.0   9.0	最終 年度 (トータルコスト・目標 (トータルコスト・目標 () ()		
(2) 事業費・指標の計 年間トータルコスト リカ源の部でである。 第一次のでは、一般的では、 「一述 「一述	出金 (金 情他 (A) いる (A) いる (B) アイウアイ	千円 千円 千円 千円 千円 千円 十二 千円 千円	(決算·実績) 16,042 16,042 9 0 16,042 18,580.0	(決算見込·実績) 13,815 13,815 7 0 13,815 14,625.0	12,700 12,700 12,700 9 0 12,700 12,726.0	24年度 (次年度計画・ 13, 13, 13, 12,7	25年度 (計画·目· 339 13 339 13 8 0 339 13 26,0 12,	に (情報) (情報) (情報) (情報) (情報) (情報) (情報) (情報)	26年度   +画·目標)   13,300   13,300   0   13,300   12,726.0	最終 年度 (トータルコスト・目標 (トータルコスト・目標 ()		
(2) 事業費・指標の計 年間トータルコスト	出金 (A) 数 (A) 数 (A) 数 (A) 数 (A) で アイウアイ	千円       千円       千円       千円       千円       千円       千円       数	(決算·実績)  16,042 16,042 9  0 16,042 18,580.0 9.0	(決算見込·実績)  13,815 13,815 7 0 13,815 14,625.0 9.0	12,700 12,700 12,700 9 0 12,700 12,726.0 9.0	24年度 (次年度計画・ 13, 13, 13, 12,7	25年度 (計画·目· 339 13 339 13 8 0 339 13 26,0 12,	に (言 (言 (言 (言 (言 (言 (言 (言 (言 (言	26年度   +画·目標)   13,300   13,300   8   0   13,300   12,726.0   9.0	最終 年度 (トータルコスト・目標 (トータルコスト・目標 () ()		
(2) 事業費・指標の持 年間	出金 (高) (A) (B) アイウアイウ	千円       千円       千円       千円       千円       千円       千円       時千円       大       人	(決算·実績)  16,042 16,042 9  0 16,042 18,580.0 9.0  166.0 15.0	(決算見込·実績)  13,815 13,815 7, 0 13,815 14,625.0 9.0 160.0 15.0	(予算·目標)  12,700 12,700 12,700 9  12,700 12,700 12,7500 15.0	24年度 (次年度計画・ 13, 13, 13, 12,7	25年度 (計画·目· 339 13 339 13 8 0 0 339 13 26.0 12, 9.0	(情 標) (情 ,300 ,300 8 0 ,300 726.0 9.0	26年度   +画·目標    13,300   13,300   8   0   13,300   12,726.0   9,0   150.0   15.0	最終 年度 (トータルコスト・目標 (トータルコスト・目標 () ()		
(2) 事業費・指標の計 事業費 財源内訳 事業職 でも 一般財 一般財 一般財 一般財 一般財 大件費 大件費 大件費 大(A)+(B) 活動指標 対象指標 大の代 大(A)+(B)	出金 (A) (A) (B) アイウアイウアイ	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       大         時間       千円         女       人         人       人         %       %	(決算·実績)  16,042 16,042 9  0 16,042 18,580.0 9.0  166.0 41.0	(決算見込·実績)  13,815 13,815 7 0 13,815 14,625.0 9.0 160.0 15.0 54.0	12,700 12,700 12,700 9 0 12,700 12,726.0 9.0 153.0 15.0	24年度 (次年度計画・ 13, 13, 13, 12,7	25年度 (計画·目· 339 13 339 13 8 0 0 339 13 26.0 12, 9.0	(情 標) (情 ,300 ,300 8 0 ,300 726.0 9.0	26年度   +画·目標    13,300   13,300   8   0   13,300   12,726.0   9,0   150.0   15.0	最終 年度 (トータルコスト・目標 (トータルコスト・目標 () ()		
(2) 事業費・指標の持事業費 財源内訳 事業費 大田 国	出金 (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	千円	(決算・実績)  16,042 16,042 9  0 16,042 18,580.0 9.0  166.0 15.0  41.0  対象者・社会状況  **で開始されたの	(決算見込・実績)  13,815 13,815 7  0 13,815 14,625.0 9.0 160.0 15.0 54.0  94.0	12,700 12,700 12,700 9 0 12,700 12,726.0 9.0 153.0 15.0 35.0	24年度 (次年度計画・ 13, 13, 13, 12,7	25年月 (計画・目: 339 13 339 13 8 0 0 339 13 26.0 12, 9.0 15.0	<b>と</b> (情報) (情報) (情報) (情報) (情報) (情報) (情報) (情報)	26年度 +画·目標) 13,300 13,300 8 0 13,300 12,726.0 9.0 150.0 40.0	最終 年度 (トータルコスト・目標 (トータルコスト・目標 () ()		
(2) 事業費・指標の計 事業費 事業費 財源内訳 事業職で、一般計 正規で、一般計 工規で、業務計 人件費 大体件 人(A)+(B) 活動指標 対象指標 は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	出金 (A) (A) (B) アイウアイウアイ クワイク クロー り頃	- F F F F F F F F F F F F F F F F F F F	(決算・実績)  16,042 16,042 9  0 16,042 18,580.0 9.0 166.0 15.0 41.0 対象者・社会状況 章で開始されたの	(決算見込・実績)  13,815 13,815 13,815 14,625.0 9.0 160.0 15.0 54.0 94.0	12,700 12,700 12,700 9 0 12,726.0 9.0 153.0 155.0 35.0 2意見等 140年4月、若草町30名、現在定員18	24年度 (次年度計画・ 13, 13, 13, 12,7	25年月 (計画·目· 339 13 339 13 8 0 339 13 26.0 12, 9.0 15.0 12,	「 (情 (情 (情 (情 (情 (情 (情 (情 (情 (情	26年度 	最終 年度 (トータルコスト・目標 (トータルコスト・日本 (トータル)) (トータルコスト・日本 (トータルコスト・日本 (トータル)) (トータルコスト・日本 (トータル)) (トータルコンスト・日本 (トータル)) (トータルコスト・日本 (トータル)) (トータルコンスト・日本 (トータル)) (トータル) (トータル)) (トータルコンコー・日本 (トータル)) (トータル) (トータル) (トータル)) (トータル) (トータル)) (トータル) (トータル) (トータル)) (トータル) (トータル) (トータル)) (トータル) (トータル) (トータル)) (		
(2) 事業費・指標の計算を指標の計算を表現して、	出金 ・	・ 一	(決算・実績)  16,042 16,042 16,042 9  0 16,042 18,580.0 9.0 166.0 15.0 41.0 対象者・社会状況章で開始されたの または5年前と 今後の予測は?	(決算見込・実績)  13,815 13,815 7  0 13,815 14,625.0 9.0 160.0 15.0 54.0  94.0	(予算・目標)  12,700 12,700 12,700 12,726.0 9.0 153.0 155.0 35.0 2意見等 40年4月、若草町30名、現在定員15で、改築工事をし	マイ 24年度 (次年度計画・ 13,・ 13,・ 13,・ 12,7・ 1.・ 立保育園として 50名である。 たが、入所児i	25年度 (計画·目: 339 13 339 13 8 0 339 13 26.0 12, 9.0 15.0 12, 9.0 12, 9.0 12, 9.0 12,	「 (情 (情 (情 (情 (情 (情 (情 (情 (情 (情	26年度 +画・目標) 13,300 13,300 8 0 13,300 12,726.0 9.0 150.0 40.0	最終 年度 (トータルコスト・目標 (トータルコスト・日本 (トータル)) (トータルコスト・日本 (トータルコスト・日本 (トータル)) (トータルコスト・日本 (トータル)) (トータルコンスト・日本 (トータル)) (トータルコスト・日本 (トータル)) (トータルコンスト・日本 (トータル)) (トータル) (トータル)) (トータルコンコー・日本 (トータル)) (トータル) (トータル) (トータル)) (トータル) (トータル)) (トータル) (トータル) (トータル)) (トータル) (トータル) (トータル)) (トータル) (トータル) (トータル)) (		
(2) 事業費・指標の手 事業費 期源内訳 事業職 (A)+(B) 活動指標 対象指標	出金 ・	一	(決算・実績)  16,042 16,042 16,042 9 0 16,042 18,580.0 9.0 166.0 15.0 41.0 対象者・社会状況障で開始されたの または5年前と今後の予測は?	(決算見込・実績)  13,815 13,815 13,815 7 0 13,815 14,625.0 9.0 160.0 15.0 54.0 94.0  禁)の変化、市民若草保育所は昭和名、平成2年定員1 定員を増やしたこと	(予算・目標)  12,700 12,700 12,700 9  0 12,726.0 9.0 153.0 155.0 35.0 2意見等 140年4月、若草町30名、現在定員15で、改築工事をし向にあるが未満児	24年度 (次年度計画・ 13, 13, 13, 12,7: 1. 立保育園として 60名である。 たが、入所児i (0、1歳児)の	25年月   (計画・目:   339   13   339   13   8   8   9   13   26.0   12, 9.0   15.	「 (情 (情 (情 (情 (情 (情 (情 (情 (情 (情	26年度 +画・目標) 13,300 13,300 8 0 13,300 12,726.0 9.0 150.0 40.0	最終 年度 (トータルコスト・目標 (トータルコスト・日本 (トータル)) (トータルコスト・日本 (トータルコスト・日本 (トータル)) (トータルコスト・日本 (トータル)) (トータルコンスト・日本 (トータル)) (トータルコスト・日本 (トータル)) (トータルコンスト・日本 (トータル)) (トータル) (トータル)) (トータルコンコー・日本 (トータル)) (トータル) (トータル) (トータル)) (トータル) (トータル)) (トータル) (トータル) (トータル)) (トータル) (トータル) (トータル)) (トータル) (トータル) (トータル)) (		
(2) 事業費・指標の計 事業費 財源内訳 事業職 で 代本費	出金 (MA) 数 (MA) 数 (MA) 数 (MA) 数 (MA) 数 (MA) が (MA)	千円円 一	(決算・実績)  16,042 16,042 16,042 9 0 16,042 18,580.0 9.0 166.0 15.0 41.0 対象者・社会状況障で開始されたの または5年前と今後の予測は?	(決算見込・実績)  13,815 13,815 13,815 7 0 13,815 14,625.0 9.0 160.0 15.0 54.0  等)の変化、市長若草保育所は昭和名、平成2年定員1 定員を増やしたこと	(予算・目標)  12,700 12,700 12,700 9  0 12,726.0 9.0 153.0 155.0 35.0 2意見等 140年4月、若草町30名、現在定員15で、改築工事をし向にあるが未満児	24年度 (次年度計画・ 13, 13, 13, 12,7: 1. 立保育園として 60名である。 たが、入所児i (0、1歳児)の	25年月   (計画・目:   339   13   339   13   8   8   9   13   26.0   12, 9.0   15.	「 (情 (情 (情 (情 (情 (情 (情 (情 (情 (情	26年度 +画・目標) 13,300 13,300 8 0 13,300 12,726.0 9.0 150.0 40.0	最終 年度 (トータルコスト・目標 (トータルコスト・日本 (トータル)) (トータルコスト・日本 (トータルコスト・日本 (トータル)) (トータルコスト・日本 (トータル)) (トータルコンスト・日本 (トータル)) (トータルコスト・日本 (トータル)) (トータルコンスト・日本 (トータル)) (トータル) (トータル)) (トータルコンコー・日本 (トータル)) (トータル) (トータル) (トータル)) (トータル) (トータル)) (トータル) (トータル) (トータル)) (トータル) (トータル) (トータル)) (トータル) (トータル) (トータル)) (		
(2) 事業費・指標の手 事業費 期源内訳 事業職 (A)+(B) 活動指標 対象指標	出金 (A) 関 (A) 関 (B) アイウアイウアイ 巻 (B) 別 (D) で (A) 関 (別 (D) で (A) 関 (D) で (A) 関 (D) で (A) 関 (D) で (A) 関 (D) で (A) 関 (D) で (A) で (	・ 一	(決算・実績)  16,042 16,042 9  0 16,042 18,580.0 9.0  166.0 15.0  41.0  対象者・社会状況章で開始されたの にまたは5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議 せられているか?	(決算見込・実績)  13,815 13,815 13,815 7 0 13,815 14,625.0 9.0 160.0 15.0  54.0  94.0  等)の変化、市民 若草保育所は昭和名、平成2年定員1定員を増やしたこと 在、児童は減少傾保育及び子育で支	(予算・目標)  12,700 12,700 12,700 12,700 12,700 12,726.0 9.0 153.0 155.0 35.0 2意見等 140年4月、若草町30名、現在定員15で、改築工事をし向にあるが未満児援に対して、安全	24年度 (次年度計画・ 13, 13, 13, 12,7: 1. 立保育園として 60名である。 たが、入所児i (0、1歳児)の、 安心な子育て	25年月 (計画・目: 339 13 339 13 8 0 339 13 26.0 12, 9.0 13, 9.0 13, 9.0 142, 9.0 142, 9	(情 (情 (情 (情 (情 (情 (情 () () () () () () () () () ()	26年度 計画・目標) 13,300 13,300 13,300 12,726.0 9.0 150.0 40.0 す関が現在に で使用してい。	最終     年度       (トータルコスト・目標       0       0       0       0       0       2       2       2       2       3       3       4       4       5       6       6       6       7       8       8       9       6       9       6       6       7       8       8       9       9       9       10		
(2) 事業費・指標の計算を	出金 ・	一	(決算・実績)  16,042 16,042 16,042 18,580.0 9.0 166.0 15.0 41.0 対象者・社会状況章で開始されたの または5年前と今後の予測は?事業対象者、議せられているか?	(決算見込・実績)  13,815 13,815 13,815 7 0 13,815 14,625.0 9.0 160.0 15.0 54.0  第)の変化、市民若草保育所は昭和名、平成2年定員1定員を増やしたことを見りです。	(予算・目標)  12,700 12,700 12,700 12,700 12,700 12,726.0 9.0 153.0 155.0 35.0 2意見等 140年4月、若草町30名、現在定員15で、改築工事をし向にあるが未満児援に対して、安全	24年度 (次年度計画・ 13, 13, 13, 12,7: 1. 立保育園として 60名である。 たが、入所児i (0、1歳児)の、 安心な子育て	25年月 (計画・目: 339 13 339 13 8 0 339 13 26.0 12, 9.0 13, 9.0 13, 9.0 142, 9.0 142, 9	(情 (情 (情 (情 (情 (情 (情 () () () () () () () () () ()	26年度 計画・目標) 13,300 13,300 13,300 12,726.0 9.0 150.0 40.0 す関が現在に で使用してい。	最終     年度       (トータルコスト・目標       0       0       0       0       0       2       2       2       2       3       3       4       4       5       6       6       6       7       8       8       9       6       9       6       6       7       8       8       9       9       9       10		

	事務事業名		若草保育所	保育活動	費		所属部	保健福祉部	FI F	所属課	若草保	育所
2		後評価(複数年度事業は途中評価)										
	①政策体系との整合 この事務事業の目的 の施策に結びつき、責 意図が上位目的に結	□ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☑ 結びついている ⇒【理由↓】 別 児童福祉法に基づき児童福祉の充実が、安心して子育てできる環境づくりのために必要である										
妥当性	② 公共関与の妥当 この事務事業を税金を わなければならないの 民間やNPOに委ねる	□ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☑ 妥当である ⇒【理由↓】 これから南アルプス市の未来をを担っていく児童を育てていくためには、公共性のある施設の公正なサービスは、福祉を充実していくために今後も必要である。										
価	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、こ		□ 見直し余り <b>適切である</b> 職員及び児童	3	⇒【理由↓】 ⇒【理由↓】 の保育活動費	]		neck2)・4今後 要はない。	の方向性	きに反映		
	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進 で成果を向上させるこ きない場合は何が原因 か?	□ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映  ☑ 向上余地がない ⇒【理由↓】  保育所独自の活動、特色を出し入所児童の増加を図っていく。  職員及び児童数に応じての保育活動費なので、成果の向上余地はない。										
有効性評価	⑤ 類似事業との統廃 類似した目的を持つ事 るか?類似事務事業 事務事業との統合や できるか?	事務事業が他にあ がある場合、その 車携を図ることは	□ 統合・	連携ができ 連携ができ	-		具体案↓】		五(Check	<2)・4今征	後の方向性に	こ反映
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか?また成果から考えて、休止・廃止することはできるか?		□ 影響なし ☑ 影響あり 保護者が安心	<b>⇒【理由と</b> して子どもを	き預けることが	できない	] [	□ 休止・廃止が ▼ 休止・廃止でき 職員及び児童数に ハ。	<b>きない =</b> と応じての	活動費なの	で休止・廃止	できな
効率性	⑦ 事業費の削減余 成果を下げずに事業乳できないか?(仕様や 住民の協力など)	□ 削減余地 □ 削減余地 職員及び児童	がない	⇒【理由・具 ⇒【理由↓〕 の保育活動費	]		<b>3評価(Check</b> 2 削減余地はない。	2)•4今後	後の方向性	に反映		
評価	⑧ 人件費の削減余 成果を下げず人件費? か?(事業のやり方の 時間の削減や臨時職 託による削減はできる	を削減できない 見直しによる業務 員対応や外部委 か?)	□ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☑ 削減余地がない ⇒【理由↓】 児童数・延長事業に対しての職員数なので、削減余地はない。 (児童数153名その内、気になる子グレーゾーンの子3名)保育士正職員8名・臨時職員6名・5hパート2名、・臨時調理員3名)									
平性	<ul><li>⑨ 受益機会・受益者?</li><li>地</li><li>事務事業の内容が一ていないか?受益者?</li><li>はないか?公平公正?</li></ul>	部の受益者に偏っ 負担を見直す必要	□ 見直し余り ▼ 公平・公司 職員及び児童	<b>Eである</b>	⇒【理由・具 ⇒【理由↓〕 の保育活動	]		3評価(Check2公平公正化である		後の方向性	に反映	
3	評価(Check2)	旦当課管理者(:	よる評価結			古双古米	t ch the 1 4 4		S114 - 1.	一	の土白州笠	について
	③ 効率性		沈に心した保育活動が行われ、また、子育て相談、保育サービス等、市民のニースにはは心えることができ 一余地あり 一余地あり 一余地あり 一余地あり 一分でいかなければならないため、本事務事業の見直し余地はない。								)発達の状 とができ	
4	4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)											
<u>(1</u>	) 今後の事務事業の 廃止(目的妥当性①、 休止(目的妥当性①、	<mark>D方向性(Check1</mark> ②、③の結果)	の結果から □ 事業統		す効性⑤の結	果厂公平		平性⑨の結果) 価項目で適切)	(3) 改革 •	・改善によ	る方向性コスト水準	<u> </u>
	必要性検討(目的妥当性①、						(推讨(王評	現日で週別/		· 削洞		加
(2 (1) (2) (3)	)改革改善案につい	<u>T</u>							男 力 华	成果 向上維持 低下		
(4)	改革改善を実現する	る上で解決すべき	き課題とその角	<b></b>							の場合は記 <mark>度評価結果</mark>	
① ② ③									成果優	先度評価組	洁果	8
									コスト削	<b>削減優先度</b>	評価結果	6